

## 公開講演会

# 藩・旧藩社会にみる「文明」 —下総佐倉藩の事例から—

日時

2022年4月30日(土) 14:00～17:30

講演者

宮間純一(中央大学教授)

申込

Zoom開催:要事前登録

以下のURLまたは右のQRコードより登録をお願いします。

[https://zoom.us/meeting/register/tJ0scOuqrTspHNJiQ400Eb8E\\_yY7HGU7Q7X6](https://zoom.us/meeting/register/tJ0scOuqrTspHNJiQ400Eb8E_yY7HGU7Q7X6)



### 趣旨

本講演では、旧藩社会(廃藩後も続く旧藩にもとづく社会的結合)や、その前提となる幕末期の藩が有していた「文明」観について、下総佐倉(千葉県佐倉市)を事例に検討する。幕末期に老中を務めた佐倉藩主堀田正睦は、西洋の「文明」を積極的に摂取しようとした大名だとイメージされるが、この人物像は正睦とその息子である正倫に仕えた旧藩士・旧領民が正睦を顕彰する過程で創り出したものであった。正睦は、いち早く西洋の技術・知識を採り入れ、日本を列強にならぶ「文明国家」に押し上げようとした人物だと称美されてゆく。このような、正睦にまつわりつく「文明」言説を追跡することで、19世紀後半の日本の一地域における国家観・世界観を分析したい。

### 講演者プロフィール

1982年生。専門は日本近世史・近代史。中央大学大学院文学研究科日本史学専攻博士課程後期課程修了。博士(史学)。宮内庁書陵部研究職(内閣府事務官)、人間文化研究機構国文学研究資料館准教授、総合研究大学院大学文化科学研究科准教授(併任)を経て、2022年4月より中央大学文学部教授。著書(単著)に『国葬の成立—明治国家と「功臣」の死—』(勉誠出版、2015年)、『戊辰内乱期の社会—佐幕と勤王のあいだ—』(思文閣出版、2015年)、『天皇陵と近代—地域の中の大友皇子伝説—』(平凡社、2018年)。

### §プログラム§

14:00～14:10	開会挨拶	
14:10～15:10	講演「藩・旧藩社会にみる「文明」—下総佐倉藩の事例から—」 (宮間純一)	
15:10～15:30	休憩	
15:30～17:30	討論	*司会:谷口 眞子(早稲田大学文学学術院 教授)

\*共催:基盤研究(A)「19世紀を中心とした軍事的学知をめぐる人と書物の交錯」、 「軍隊と社会の歴史」研究会